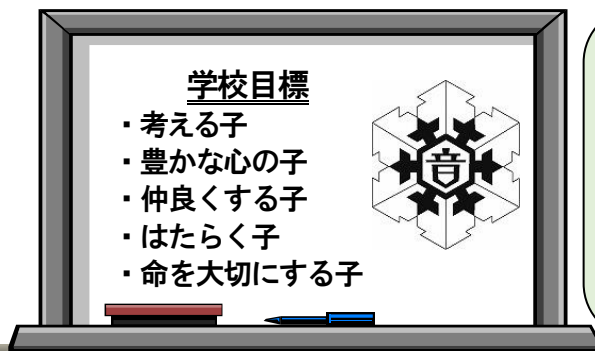




令和元年 11月26日発行 No.10 発行責任者 校長 西村浩一



## 「外国語を学ぶということ」

校長 西村浩一

恥ずかしながら私は英語を話せません。そもそも、外国の方と英語で会話したことがほとんどありません。もちろん外国映画で英会話が出ていても何を言っているのかさっぱりわかりません。遙か昔の大学受験の際はずいぶん英語の学習に時間を費やしたつもりですが、習得にはつながらなかったということです。ALTと英語で会話している若い先生方を見ているとただただすごいなあと感じてしまいます。

来年の学習指導要領改訂に向けて、中学年では年間35時間の外国語活動、高学年では70時間の外国語が加わります。外国語と言っても学ぶ言語はほとんど英語です。去年から移行期間ということですので部分的に取り組み始めているのですが、我々が子どもだった時代よりもずっと早い年齢から子どもたちは英語に慣れ親しめるようになります。しかもネイティブのALTが月1回程度入ることによって英語による生のやりとりができます。その後習得できるかどうかは本人の努力に負うところは大きいと思いますが、少なくともその可能性は広がることとなります。

英語を使いこなせるようになってどんなメリットがあるのでしょうか。字幕なしでハリウッド映画を楽しめる。海外旅行しても困らない。最近国内でよく見かけるようになった外国人旅行者と英語で会話する機会があるかもしれない。英語のウェブサイトを楽しめるようになる。私が思い浮かぶことはそんなところでしょうか。

ところで文部科学省ではもっと深いことを考えています。

「グローバル化が急速に進展する中で、外国語によるコミュニケーション能力は、これまでのように一部の業種や職種だけでなく、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定され…」

と新学習指導要領に記されています。

グローバル化の波は航空産業の発展やインターネットの普及によってさらに加速しています。コミュニケーションなしには貿易も外交も国際交流もあり得ません。コミュニケーションの道具が英語なのです。英会話ができない、日本から出たことのない私が語っても全く説得力はありませんが、グローバル化の進展により、英語は世界共通語としてますます大切になってくるでしょう。もちろん私のように英会話ができなくても何不自由なく国内で暮らしていくことはできます。しかし、学ぶチャンスが広がったのですから、せめて子どもたちには私のような英語アレルギーにならず、自分の世界と可能性を広げ世界へ羽ばたくための英語力を身につけてくれたらと願ってやみません。

## 学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました

今月中旬に全家庭を対象に行わせていただきました学校評価アンケートの回答へのご協力、本当にありがとうございました。

現在学校では、保護者のみなさまや子供たちから頂いたアンケート、教職員自身へのアンケートの集計と分析を行っている段階です。結果を加え、次年度へ向けて、子供たちや保護者のみなさま方から頂戴した貴重なご意見を生かし、子供たちにとって、また、保護者・地域のみなさま方にとってより良い学校となるよう、改善点を探り出し、取り組んでまいります。

アンケートの結果、並びに今後の改善に向けての方向性や、次年度の学校経営の指針などにつきましては、まとも次第改めて皆様方にお知らせしていきます。今後とも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### ◆ 12月行事予定

\*生活・健康・安全目標\*

2学期のまとめと身の回りの整理整頓しよう

冬に多い病気に気をつけよう

冬休みを安全にすごそう

日	曜	主な行事	給食	日	曜	主な行事	給食
1	日			16	月	児童委員会	○
2	月	朝会	○	17	火		○
3	火	標準学力検査(3~6年) 市P連広報情報専門部会	○	18	水	防犯教室(5・6年)	○
4	水	参観日(低・中) 5時間授業 市P連健全育成専門部会	○	19	木	スクールカウンセラー来校日	○
5	木	参観日(高) 給食試食会 5時間授業 PTA運営委員会③	○	20	金	大掃除	○
6	金	職員会議	○	21	土		
7	土	(連町もちつき大会)		22	日		
8	日	(ビーナスクラブ(ミニクリスマスパーティー))		23	月		○
9	月	児童委員会	○	24	火		○
10	火	ALT 5時間授業	○	25	水	2学期終業式 5時間授業	○
11	水	口腔衛生教室(3・4年)	○	26	木	冬季休業開始(~1/19) チャレンジタイム①	
12	木		○	27	金	チャレンジタイム②	
13	金		○	28	土	学校閉庁日	
14	土			29	日	学校閉庁日	
15	日			30	月	学校閉庁日	
				31	火	学校閉庁日	

12/28(土)~1/3(金)までの7日間、年末・年始休業を含めた学校閉庁日とさせていただきます。この間、来校・電話等の対応は行いません。何か緊急的に連絡を取りたい場合は、**釧路市教育委員会(TEL:0154-23-5186)**にご連絡ください。担任への直接的な連絡もお控えくださいますようお願いいたします。

# ままいを守り、安全な生活を！

## 【自転車乗車の禁止】

寒さが厳しくなり、路面の水たまりも凍り始めました。降雪もすでにありましたので、今年度の自転車乗車は終了となります。

手入れや点検をしっかりと行い、来年に備えてください。

## 【風邪の予防】

今年もインフルエンザの流行のきざしが見え始めてきました。季節の変わり目で風邪で欠席の連絡が散見されます。うがい・手洗いの習慣をつけ、規則正しい生活を心がけてください。手洗いの時には、石鹸をつけて丁寧に洗ってください。ハンカチを学校へ持たせることも忘れずをお願いします。



## 【適切な服装】



時折、気温に合った適切な服装をしていない児童が見受けられます。授業内容によっては外で活動したりすることもあります。冬になり、学校周辺の除雪のお手伝いや雪遊びも考えられます。帽子や手袋と併せて、適切な服装にご配慮下さい。

## 【登校時刻】

今後、朝の冷え込みが厳しくなります。暖房を早めに入れ、暖かい学校にして子どもたちを受け入れてあげたいと思っておりますが、月曜日などの休み明けの日は、なかなか暖まりません。ご家庭の事情もおありかと思いますが、7:50~8:15をゆめに登校させていただくようご協力をお願いします。

# Q-U、アセス

音別小学校をはじめ釧路市内全校では、この2つのアンケートに年2回取り組んでいます。これは、この結果をもとにして学級の子供たちの様子や意識を把握し、個別に面談を行うなどして、学級集団における子供のよりよい成長につなげていこうというものです。

時間にして15分もかからないもので、回答も選択肢から選ぶ形式のもので、子供にとっては非常に簡単なものなのですが、その結果を見ると、一人ひとりの子供の学校への適応感について様々なことが読み取れます。

今回も、このQ-U、アセスを行うことによって、1学期時点とはまた異なる子供の様子や学級の様子が見えてきました。これら一つ一つ丁寧に对应しながら、子供たちがより快適に学校生活を送ることができるよう、改善工夫を行っていきます。

# 学校支援ボランティア募集中です

以前もお伝えさせていただきましたが、現在学校では、様々な学校活動をご支援いただくボランティアのみなさまを募集中です。「子どもたちに本を読み聞かせたい」「子どもたちの登下校を見守りたい」「踊りの指導なら…」「裁縫のお手伝いであれば…」「野菜の育て方なら…」「草刈りや雪かき、施設整備なら…」などなど、みなさんが可能な範囲のことを、無理のない範囲でお手伝いいただくと、大変ありがたく思います。保護者のみなさまだけでなく、地域のみなさまにもご登録いただくと嬉しいです。申込用紙等は再度、配布いたします。詳しくは、教頭までお問い合わせください。

# 赤い羽根共同募金

今月20(水)より、児童会三役が中心となって、「赤い羽根共同募金」運動に取り組んでいます。三役の児童は毎朝、少し早く登校して玄関に立ち、元気な声で呼びかけを行っています。この活動を通し、お互いに助け合う心が育っていくことを期待しています。



募金活動は来月6日(金)まで継続して取り組む予定です。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

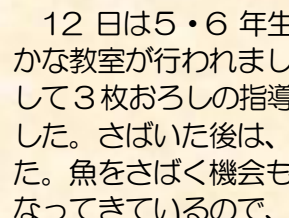
# 外部の先生をお招きしての授業、目撃報告

先月末から今月にかけては、外部講師をお招きしての授業や、校外での体験的授業が多く行われた時期でした。

10月30日には、毎年恒例となりましたが、大塚製薬様と釧路市産業推進室の方をお招きしてのオロナミンC授業を2年生で行いました。東日本に流通しているオロナミンCは、音別で製造、出荷されています。音別の代表的な工業製品をもっと身近に感じてほしいと願っています。



これもまた恒例となっていますが、6日は低学年の子どもたちが、よつ葉乳業と農協婦人部の方を講師にお招きし、牛乳授業を行いました。牛乳に関するクイズをおこなったり、生乳を使ったバターづくりをおこなったりして、牛乳の素晴らしさや製品の作り方を学びました。



12日は5・6年生を対象にしたおさかな教室が行われました。イワシを使用して3枚おろしの指導をしていただきました。さばいた後は、かば焼きにしました。魚をさばく機会も見ること少なくなってきたので、貴重な体験をしました。



20日には尺別の佐藤牧場様を訪問し、3・4年生が搾乳体験を行いました。実際に牛に触れたり、搾乳したりすることは通常できない体験です。牛乳はどのように生産されているということをもっと実際に体験を通して学びました。

これからもいくつか体験的な授業活動が予定されています。たくさんの方の地域のみなさまの支えがあってこそ成り立つこれらの教育活動。今後も一層大事にし、子供たちに貴重な経験を積ませていきたいと思っております。



心の教育推進センター